

## 特別養護老人ホーム 皆生みどり苑

### 1 基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援します。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切にされた生活を提供します。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高め、信頼される施設を目指します。
- 社会のニーズに応じ、高齢者・障がい者等が共に暮らす共生社会づくりに貢献していきます。

### 2 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

#### （1）入退所の状況

定員	前年度末 利用者数	令和3年度中の入退所状況					利 用 延人員	年間平均 稼働率	年 度 末 利用者数
		入所	退所	退所理由別					
				施設 移管	契約解除 (入院等)	死亡			
100人	97人	32人	29人	0人	3人	26人	35,370人	96.9%	100人
2年度   100人	100人	46人	49人	0人	7人	42人	35,003人	95.9%	97人

#### （2）利用者の介護度別人員

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男 性	0人	0人	3人	5人	10人	18人
女 性	1人	0人	13人	36人	32人	82人
計	1人	0人	16人	41人	42人	100人

（平均介護度4.23）

### 3 事業の実施状況

#### （1）重度者ケアの充実

ア 理学療法士や看護師等と連携し利用者の状態変化に合わせた車椅子、スライディングボードやリフトの導入など、利用者の活動面の確保や安全性に配慮しながら最適な福祉用具を活用した。

イ 長谷川式簡易評価を実施して認知機能状態の把握を行った。対応困難者については都度カンファレンスで検討し多職種で協力して対応した。ひもときシート等の分析ツールの活用までは至らなかった。

ウ 多職種間で情報共有し、連携して褥瘡発生予防に努めた。褥瘡発生時には早急に対応を検討し速やかに関係職員へ周知した。嚥下機能においては、絶食による機能低下が見られるので、多職種で連携し少量の水分での服薬を出来る限り継続して嚥下機能の低下防止に努めた。また炎症の状態が落ち着いた時には、絶食から早期の経口摂取へ再開できるように、嘱託医と密に連携して対応した。

エ 穏やかに最期を迎えられるよう多職種で連携して身体的負担の軽減を図り、積極的に声掛けを行って安心して過ごせるように努めた。また、ご家族と密に連絡を取り報告を行ってコミュニケーションを図り、気持ちに寄り添えるように心掛けた。

ターミナルケア研修を開催するとともに、ターミナルケア後の振り返りシートを記入することで職員の資質向上と心的負担軽減を図った。

## (2) 個別ケアの充実

ア 利用者の意向をくみ取るために、入所時の暮らしのアセスメントを活用しながら、利用者一人ひとりの話を傾聴し気持ちを確認してニーズ把握に努めた。これらの情報はユニット内で共有し利用者が安心して過ごせるようケアの統一を図ってサービスを提供した。

イ 利用者一人ひとりニーズの把握に努め、生活リズムに合わせた24時間シートを作成している。作成した24時間シートは、定期的に担当者会議等で評価・検討し現在のニーズに合わせたものに見直して、希望に応じたサービスを提供している。

ウ 身体拘束、虐待防止研修や意思決定支援など個人の尊厳を尊重する研修を開催し職業倫理観を養っている。また、自己評価や接遇マナーアンケート等を定期的実施して自らを振り返る機会を設け意識向上を図っている。

## (3) 経営改善・基盤の確立

ア 稼働率は、入所稼働率96.89%、短期稼働率は50.47%と目標稼働率を達成した。

欠員期間は、事前面接により空床期間の短縮を図ったが、利用者の入れ替えの重複等により、平均欠員日数は11日となった。

イ 新型コロナウイルス感染症の流行状況を勘案しながら、面会方法を対面やリモートに都度変更して安全確保を図った。職員は休憩、食事の取り方や会議時の換気等濃厚接触者とならないよう対策してリスク管理を行った。

感染症情報は一斉メールを活用して全職員へ発信し情報共有を図るとともに、ゾーニング、ガウンテクニック等の研修を実施し意識向上に努めた。

ウ 記録システムを活用し各部署から確認して速やかな情報共有を行っている。今後、タブレット端末や睡眠状況を観察する機器を導入予定であり、入力作業の効率化や睡眠の可視化により働きやすい職場環境の構築を目指す。

## 4 実習、ボランティアの受入状況

### (1) 実習の受入実績

新型コロナウイルス感染症対策のため、受入実績なし

### (2) ボランティアの受入実績

永江地区在宅福祉員、さざんかの会 等 (延べ10人)

## 5 付帯事業

### (1) 短期入所事業 定員 併設6名及び空床型

年度	実人員	延人員
令和3年度	21人	1,105人
令和2年度	18人	1,238人

(2) 高齢者世話付住宅援助員派遣事業 定員 22世帯

相談等状況	訪 問	電 話	その他	合 計
安否・健康状態の確認	1, 8 1 6 件	3 5 件	4, 2 2 4 件	6, 0 7 5 件
生活支援・相談	4 1 0 件	1 8 8 件	0 件	5 9 8 件
緊急時の対応	1 件	3 4 件	0 件	3 5 件
合 計	2, 2 2 7 件	2 5 7 件	4, 2 2 4 件	6, 7 0 8 件